

形容詞について

形 容名詞は、屈折詞の中でも屈折が特に少ないグループです。詞境界は km-i と km-ii の二種類しかなく、音のある屈折語尾は合わせて4つしかありません。筆者： twitter.com/awesomenewways

形容詞について

詞境界

形容詞にはふたつの詞境界があります。

形容詞には「がる」が接続するものとししないものがあります。「白い」「黒い」など、それを見るものの心情を表さないものには「がる」が接続せず、「寒い」や「珍しい」など、形容されるモノを見るものの心情を表すものには「がる」が接続する傾向があります。この違いは後者により深い詞境界を与えることで記述されます。

- k-i テンス・条件

- k-ii 心情

心情が参照されていそうなものでも、動詞語尾「たい」_{ṭa} と名詞語尾「らしい」_{ra'si} では、前者は k-ii であるのに対して後者は k-i であるという違いがあります。このように、詞境界と意味の対応はあくまで事後的に見出される傾向であり、分類の基準ではないので注意が必要です。

「かわいい」「いい」「ない」は「そう」が接続できず、これら以外の形容詞には「そう」が接続できるので、これらの3つは擬似形容詞として記述されます。

形容詞に接続する語尾「がる」 'gar は、一部の形容名詞にも同音の語尾があるようにも見えます（「不思議がる」など）が、数が少ないため、形容名詞の語尾としては立てていません。もし「がる」を形容名詞の語尾とすると、形容名詞にも「心情」の有無によって詞境界を分ける必要が出てきます。

形容詞にも意味上はコト修飾とモノ修飾の別を考えることができますが、形容詞の場合は形容名詞と違い、どちらの場合にも付属語ではなく語尾 ku が接続し、その場合の右側の語境界はどちらの場合でも A2 なので、ここでは詞境界の別を設定していません。

語尾

- '(_).i
- ,(_).katta
- .idesu
- ,(_).kattadesu
- .ku
- ,(_).kute
- ,(_).kereba
- .i.to
- .sa,
- .'sou,
- .i'gar

述語体系

R1 系列

k-i に接続し、R1 を作る語尾です。この系列の語尾は、話体の情報を含んでおらず、文末でこれらの語尾が使われる場合はいわゆるタメ語になります。

- '(_)-i
- ,(_)-katta

意味はどちらも似ていますが、'(_)-i に対して ,(_)-katta が過去を表します。

P1 系列

k-i に接続し、P1 を作る語尾です。ちょうど R1 系列の語尾の丁寧な形にあたります。

- ·idesu
- ,(_)-kattadesu

R1 系列と同様、katta が含まれる方が過去を表します。

A2 系列

k-i に接続し、A2 を作る語尾です。同音の語尾が A4 にもあるので注意が必要です。

- ·ku

この語尾は後に様々な語を繋げて色々な表現を作ります。

'nai	否定語です。R1 を作ります。
'nakatta	過去を表す否定語です。R1 を作ります。
'naidesu	丁寧な否定語です。P2 を作ります。

'nakattadesu	過去を表す丁寧な否定語です。P2 を作ります。
arima'senn	丁寧な否定語です。P2 を作ります。
arima'senndesita	過去を表す丁寧な否定語です。P2 を作ります。
nasa'sou	推量を表します。km-i を作ります。

意味に基づいて表にまとめると以下ようになります。

		丁寧 1	丁寧 2
否定現在	'nai	'naidesu	arima'senn
否定過去	'nakatta	'nakattadesu	arima'senndesita
形容名詞	nasa'sou		

A3 系列

k-i に接続し、A3 を作る語尾です。同音の語尾が A4 にもあるので注意が必要です。